

# ふるさとの海辺は生きている ビーチクリーンアップとネイチャークルージング実施結果報告

○実施日時: 2014年6月13日(金) 9:00~15:00      ○参加総数: 76名

○活動場所: 仙台市宮城野区 岡田新浜・南蒲生海岸

○緑を守り育てる宮城県連絡会議、南蒲生/砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク、  
北の里浜 花のかけはしネットワーク

○新浜復興の会、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所、仙台森林管理署、宮城県、仙台市  
(公)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、深沼・二の倉海岸復旧工事連絡協議会

○活動の目的

東日本大震災で大きな打撃を受けた「ふるさと・宮城のうるわしい砂浜海岸」。その再生を支援すべく、(1)漂着した人工ゴミ(プラスチックやガラス、金属製品など)の撤去と、(2)自律的に回復しつつある砂浜固有の生きもの(可憐な花を咲かせる植物や小さな昆虫類など)の観察を行い、(3)自分自身にできる「ふるさとの海辺再生支援」について考える。



ビーチクリーンアップ



ネイチャークルージング

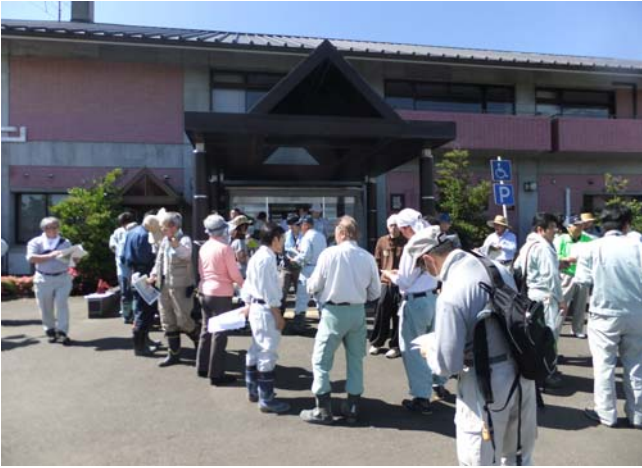


# 実施箇所位置図(空撮)





# 状況写真①



参加者受付状況



はじめの会(仙台市農業園芸センター)



連絡会議佐藤事務局長あいさつ



仙台河川国道菊地副所長あいさつ



新浜復興の会遠藤様あいさつ



実施会場へ移動 作業前ミーティング



## 状況写真②

### ◇ビーチクリーンアップ



平吹先生趣旨説明



協議会白鳥世話役注意事項説明



仙台河國小野監督官注意事項説明



浜辺の動植物に配慮しながら活動開始



好天のもと黙々と作業する参加者



### 状況写真③



回収した塵芥は4tトラックで5台分



きれいにクリーンアップされた浜辺



## 状況写真④

◇ネイチャークルージング(南蒲生エコトーンモニタリングサイト)



会場へ徒歩で移動



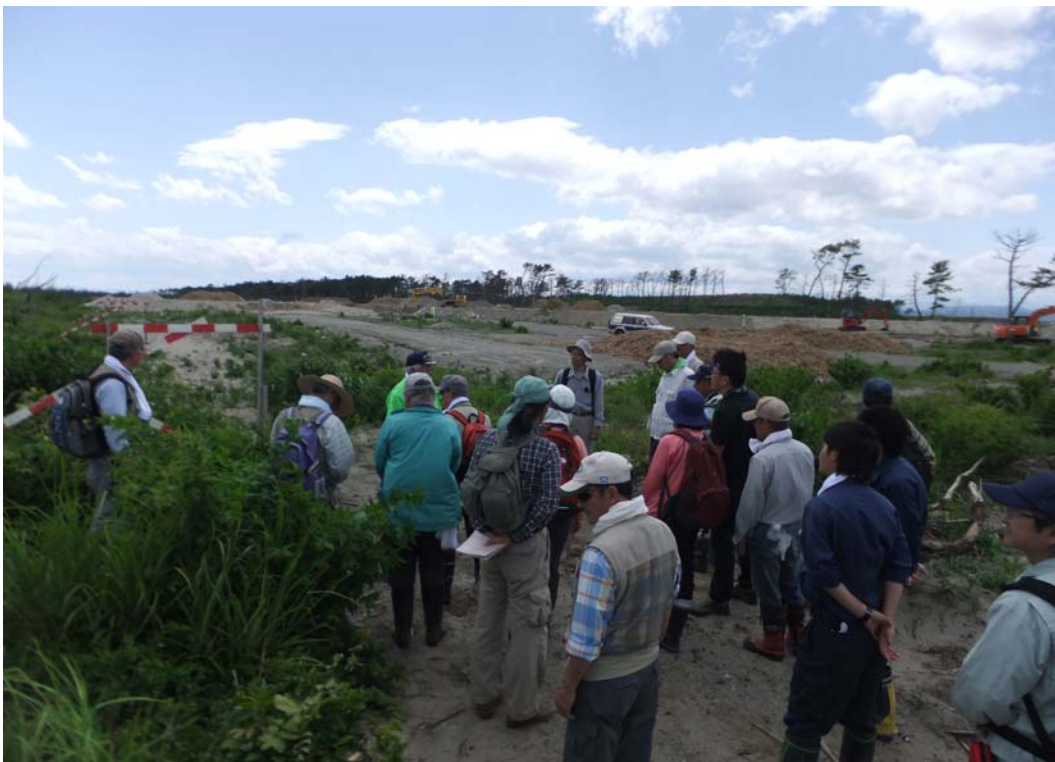
新浜復興の会遠藤様から愛林碑の説明



愛林碑(アップ)



平吹先生の説明



津波によるエコトーンの移動と変化について説明



## 状況写真⑤



外来種の進入(イタチハギ)



自然植生と共存する昆虫を探す



海岸防災林再生について説明



佐藤事務局長による残存クロマツ林の説明



クロマツの再生と生態について説明



## 状況写真⑥

◇モニタリングサイトで見られた浜辺の植物



ハマヒルガオ



ハマヒルガオのお花畑



ハマニンニク



自生クロマツの新芽



オカヒジキ



ハマボウフウ



コウボウシバ



コウボウムギ

※植物の名称に間違いなどがありましたらご容赦願います